

仕事と家庭の両立ができる
子育てにも理解のある職場です！

チームワークの中でも
女性として活躍の場面があります！

消防学校を卒業して、消防署配属から2年後に子どもを出産しました。職場への復帰は不安でしたが、職場の先輩たちに子育ての悩みを相談したり、業務のサポートをしてもらったりしながら楽しく仕事ができ、子育てをしながらでも働きやすい職場です。



▲仕事も子育ても楽しく！

ほとんどが男性職員という中で仕事をする事に不安がありましたが、チームとして働くことで、お互い支え合うことができて安心です。また、女性だから活躍できる場面も多くありますので、男女問わず「消防職員になりたい！」とやる気のある人はぜひ採用試験を受けてください。



▲消防における事務は専門の知識が必要。

高校卒業後、専門学校で救急救命士資格を取得。平成28年、消防学校を経て消防署警備係に配属。平成30年から現在の総務課に勤務。平成31年と令和2年に産休・育休を取得。



消防総務課 救急救助係
比嘉 智子 さん

高校卒業後、専門学校に進学。平成17年、消防学校を経て消防署警備係に配属。平成22年には救助隊・水難救助隊選任。令和2年から現在の総務課に勤務。



消防総務課 総務係
金城 名帆子 さん

求められる女性のチカラ

柔軟な対応と安心感という
もう一歩先の住民サービスへ

火災や事故、災害などから地域住民の安全を守るプロフェッショナルといわれる消防職員。「火事を消し止める」イメージがありますが、実際にはそれだけではありません。いろいろな仕事とさまざまな現場、多様な対応が求められている今、消防業務の中で女性としての視点、女性としての対応の必要性が重要視されています。

総 務省消防庁の調査で、**女性消防職員の割合は全体の約2.4%**であり、消防と同様に現場活動を行う警察官や自衛官等と比べて低いことがわかりました。そこで総務省は**令和8年までに女性の割合を5%にする**数値目標を定めました。本市でもその取り組みを推進するために、消防職員の仕事内容や、働く女性消防職員の思いを聞きました。



消火だけじゃない！？消防職員の仕事内容

災害対応業務(消防署)

災害現場で、消火・救急・救助にあたる業務で、災害から最前線で地域住民の命と安全を守ります。また、定期的に救急法講習会を開催しています。

- ◎ポンプ隊
- ◎救助隊
- ◎水難救助隊
- ◎救急隊など



火災予防業務(予防課)

建物への立ち入り検査や消防用設備の設置、危険物施設への指導など、災害による被害を未然に防ぎます。

- ◎危険物施設の指導
- ◎防火管理の指導
- ◎建物の審査や立ち入り検査
- ◎火災原因の調査など



通信指令業務(情報指令課)

119番通報を受けて、現場の状況を判断し、消防車や救急車を出動させる業務です。救急要請があった際には、電話で応急処置を教えるなどしています。

- ◎出動指令や指示
- ◎関係機関への連絡
- ◎職員および団員の非常招集
- ◎情報通信設備の整備・維持管理など



総務業務(消防総務課)

消防隊員が現場で使用する車両や資機材を購入したり、消防車や救急車の定期的な点検等の計画を立てたりと消防を運用する中で欠かせない仕事です。

- ◎式典・行事の運営
- ◎文書の申請・管理
- ◎各種契約
- ◎消防水利の整備・点検など



消防職員を目指す女性の皆さんへ

浦 添市では、現在1000人の消防職員がいますが、そのうち女性3人です。

女性消防職員は、さまざまな現場で活躍しています。火災現場等では男性職員と対等に仕事ができることも大事ですが、女性特有の疾病の対応や、更衣室で倒れた女性の救助のときにできる配慮、不安で泣きやまない子どもを落ち着かせて安心感を与える等、柔軟な対応が求められる場面は多々あります。女性として、消防職員としてあなたも浦添市消防本部と一緒に働きませんか？

女性消防職員になるためには…

消防職員は、市町村の地方公務員です。消防職員として働くには、各地方自治体が行う「消防職」の採用試験(筆記、体力、面接)に合格する必要があります。※本市の職員採用情報は、**7月下旬頃**から市ホームページ等に掲載予定です。

- STEP1 採用試験
- STEP2 消防学校入校
- STEP3 消防勤務